

## ～地震の心得10カ条～

### ① まずわが身の安全を図る

地震が発生したら、まず丈夫なテーブル、机などの下に身を隠して、しばらく様子を見る。

### ② すばやく火の始末

大地震で最も恐ろしいのは火災。地震を感じたら落ち着いて、冷静に、すばやく火の始末（給湯室のガス栓を締める）

### ③ 火が出たらまず消火

万一出火した場合には、初期のうちに火を消すことが大切。周囲に声をかけあい皆で協力して初期消火に努める。

### ④ あわてて外に飛び出ない

屋外は瓦やブロック塀、ガラスの飛散など危険がいっぱい。揺れが収まったら外の様子を見て、落ち着いて行動する。  
避難用に自動ドアや窓を開けておく。  
（外へ出るときは、ヘルメットや頭巾などをかぶって出る）

### ⑤ 危険な場所に近寄らない

狭い道路、塀ぎわ、老朽化建物・ガラス張建物の傍らなど、危険な場所にいるときは急いで離れる。

### ⑥ がけ崩れ、津波などに注意

がけ崩れや津波などの危険区域では、すばやく安全な場所に避難する。

### ⑦ 正しい情報で行動する

テレビやラジオ、防災機関からの情報で行動し、デマに惑わされないよう注意する。

### ⑧ 人の集まる場所では冷静な行動を

あわてて出口や階段に殺到せず、係員の指示に従う。

### ⑨ 避難は徒歩で、持ち物は最小限に

避難は自動車、自転車は使わず徒歩で。また身軽に行動できるよう荷物は必要最小限にとどめ、背負うなどして両手をあける。

### ⑩ 避難は徒歩で、持ち物は最小限に

カーラジオの情報に注意し、勝手な走行はしない。また、走行できない場合は左に寄せて停車し、エンジンを止める。車を離れて避難する時は、キーはつけたままで、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出して徒歩で避難する。

## 災害時等連絡先

情報	機関	入手先(機関名)	電話番号
行政情報	消防	木更津消防署 消防総務課	0438-23-9182
		君津消防署	0439-53-1908
		富津消防署 総務課	0439-65-4902
		若葉消防署	043-237-7998
	警察	木更津警察署	0438-22-0110
		君津警察署	0439-54-0110
		富津警察署	0439-66-0110
		千葉東警察署	043-233-0110
	市	木更津市役所	0438-23-7111
		防災情報テレホンサービス	0120-107662
		君津市役所 総務部危機管理課	0439-56-1290
		富津市役所 総務防災課	0439-80-1222
		千葉市役所 危機管理課	043-245-5151
	県	千葉県 防災危機管理課	043-223-2176

# 【災害用伝言ダイヤル（171）の基本的操作方法】

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行って下さい。

操作手順		伝言の録音		伝言の再生	
①	171をダイヤル	<b>1 7 1</b>			
②	録音または再生を選ぶ。	[ガイダンス] こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は「1」、再生される方は「2」、暗証番号を利用する録音は「3」、暗証番号を利用する再生は「4」をダイヤルしてください。			
		(暗証番号なし)		(暗証番号あり)	
		<b>1</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>4</b>
			[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 <b>XXXX</b>		[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 <b>XXXX</b>
③	被災地の方の電話番号を入力する。	[ガイダンス] 被災地の方はご自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。被災地域以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。 <b>0 XX XXX XXX XX XX</b>			
<b>伝言ダイヤルセンターに接続します。※1</b>					
④	メッセージの録音 メッセージの再生	[ガイダンス] 電話番号0XXXXXXXX(、暗証番号XXXX)の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」のあとシャープを押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。尚、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。			
		ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合	ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	<b>1 #</b>	(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	<b>1 #</b>
		[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピツという音の後に、30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら、電話をお切り下さい。	[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピツという音の後に、30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら、数字の9の後シャープを押して下さい。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。伝言を繰返す時は、数字の8の後シャープを、次の伝言に移る時は、数字の9の後シャープを押して下さい。
		伝言の録音		伝言の再生	
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	録音終了後 <b>9 #</b> [ガイダンス] 伝言を繰返します。訂正される時は数字の8の後シャープを押して下さい。 録音した伝言内容を確認する。	[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。	[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。伝言を追加して録音される時は、数字の3の後、シャープを押して下さい。 (ガイダンスが流れるまでお待ちください)
[ガイダンス] 伝言をお預かりしました。		[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です			
⑤	終了	自動で終話します。			

通話料は発生しません

通話料が発生します※2

※1センター利用料について

伝言録音・再生を行うためのセンター利用料は無料です。

※2通話料について

「メッセージの録音」操作時において、録音できる伝言数を超えていた場合、または、「メッセージの再生」操作時において、お預かりしている伝言がない場合は通話料はかかりません。

**覚えてください、災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル(171)**